

シラバス情報

授業方法	講義 ・ 実験 ・ 実習		
系 列	自動車整備		
科 目 名	自動車総合整備		
必修・選択	必修科目 ・ 選択科目		
対象学科	一級自動車整備科		
年次学期・曜日・時限	4 年後期	・ 木曜日	・ 1 ・ 2 時限
時 限 数	2 6 時限（中間及び期末試験を除く）		
担当教員名	板垣 潮		
実務経験	有 ・ 無		
	国土交通省に認証された事業場における保守・点検・分解・組立など自動車整備士としての経験を活かし、整備を行う上で必要となる自動車電気回路及び電子回路について講義を実施する。		
授業の目的	無段変速機（CVT）、SRSエアバック及びプリテンショナシートベルトの概要、構造・機能、点検・整備を修得する。国家一級小型自動車整備士資格取得を目標に、その試験範囲内のシャシ部門を学習する。		
テキスト	①自動車新技術（日本自動車整備振興会連合会 発行） ②シャシ電子制御装置（日本自動車整備振興会連合会 発行）		
授 業 計 画			
授業回数	テーマ	内容・方法等	使用テキスト 範囲
第 1 回	無段変速機（C V T）①	無段変速機の概要、構造、機能を学習する。	①p.93~98
第 2 回	無段変速機（C V T）②	無段変速機の概要、構造、機能を学習する。	①p.99~103
第 3 回	無段変速機（C V T）③	無段変速機の電子制御機構、点検整備を学習する。	①p.104~111
第 4 回	S R S エアバック及びプリテンショナシートベルト①	S R S エアバックの構造・機能を学習する。	①p.137~142
第 5 回	S R S エアバック及びプリテンショナシートベルト②	プリテンショナシートベルトの構造・機能を学習する。	①p.143~150
第 6 回	S R S エアバック及びプリテンショナシートベルト③	エアバッグ、シートベルトの整備 故障診断装置を学習する。	①p.151~176
第 7 回	登録試験一級対策①	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 8 回	登録試験一級対策②	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
	中間試験	第6回までの授業内容に関する筆記試験	
第 9 回	登録試験一級対策③	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176

第 10 回	登録試験一級対策④	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 11 回	登録試験一級対策⑤	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 12 回	登録試験一級対策⑥	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
第 13 回	登録試験一級対策⑦	登録試験一級シャシ部門	②p.9~367 ①p.93~176
	期末試験	第1回～第13回までの授業内容に関する 筆記試験	
到達目標	国家一級小型自動車整備士資格取得を目標に、その試験範囲内のエンジン部門の内容を修得する。		
成績評価方法	平常点（小テスト、レポートやノートの提出とその評価、出席及び授業態度）、中間試験並びに期末試験を合算して行う。		
定期試験受験資格	開講された全時限に出席し、レポート・ノートの提出が完了している者。 欠席した時限がある場合は、補講も完了している者。		
成績評価基準	<p>成績評価は、期末試験の点数が50点以上を満足した上で、100点を満点とする整数について、次の割合で行う。</p> <p>中間試験の点数 30 % 期末試験の点数 50 % 平常点 20 %</p> <p>上記の割合によって学期末の評点が70点以上である場合、以下により評価する。 70～79点＝良、80～89点＝優、90点以上＝秀</p> <p>70点未満の場合、再試験を行い、試験点のみで70点以上のとき履修を認定し、成績は70点＝良とする。</p>		
成績評価できない 場合の基準	全講義を終了時点の出席率が50%を満たしていない場合、 又は、成績評価が70点未満の場合。		